

競技注意事項

1 入退場について

1. 入場について

共通項目

- ① スタンドへ入場できるのは、各学校の陸上競技部顧問、競技役員、選手、マネージャー、補助員、出場選手の保護者のみとする。

競技場（出場選手）

- ① 競技開始2時間前から南ゲート及び北ゲート（招集場付近）から入場することができる。
 ② 荷物置き場にテントは設置しません。
 ③ 競技が終了したら、すみやかに南ゲート、北ゲートから競技場を出る。
 ④ 記録の掲示は決勝・準決勝進出者以外は発表しない。決勝・準決勝進出者はQRコードよりWEB速報を見て確認するか、正面出入口付近でも確認できる。（WEB速報は確定順位ではありません）

メインスタンド（競技観戦者）

メインスタンドに入場する場合は、2階入口を利用すること。

相撲場（競技役員・補助員）

休憩所として相撲場を利用してもよい。（飲食可）

2. 待機場所について

- ① 選手はベンチ割りに従い学校ごとに割り当てられたエリア（高体連HP参照）のみ利用することができる。
 ② 選手の待機場所としての利用のみとし、それ以外の用途として留まらないこと。
 ③ ベンチ割りで定められた範囲以外の待機場所は設けないこと。

3. 招集所について

200mスタート付近倉庫に設ける。

4. 更衣について

北競技場1階の更衣室を使用すること。

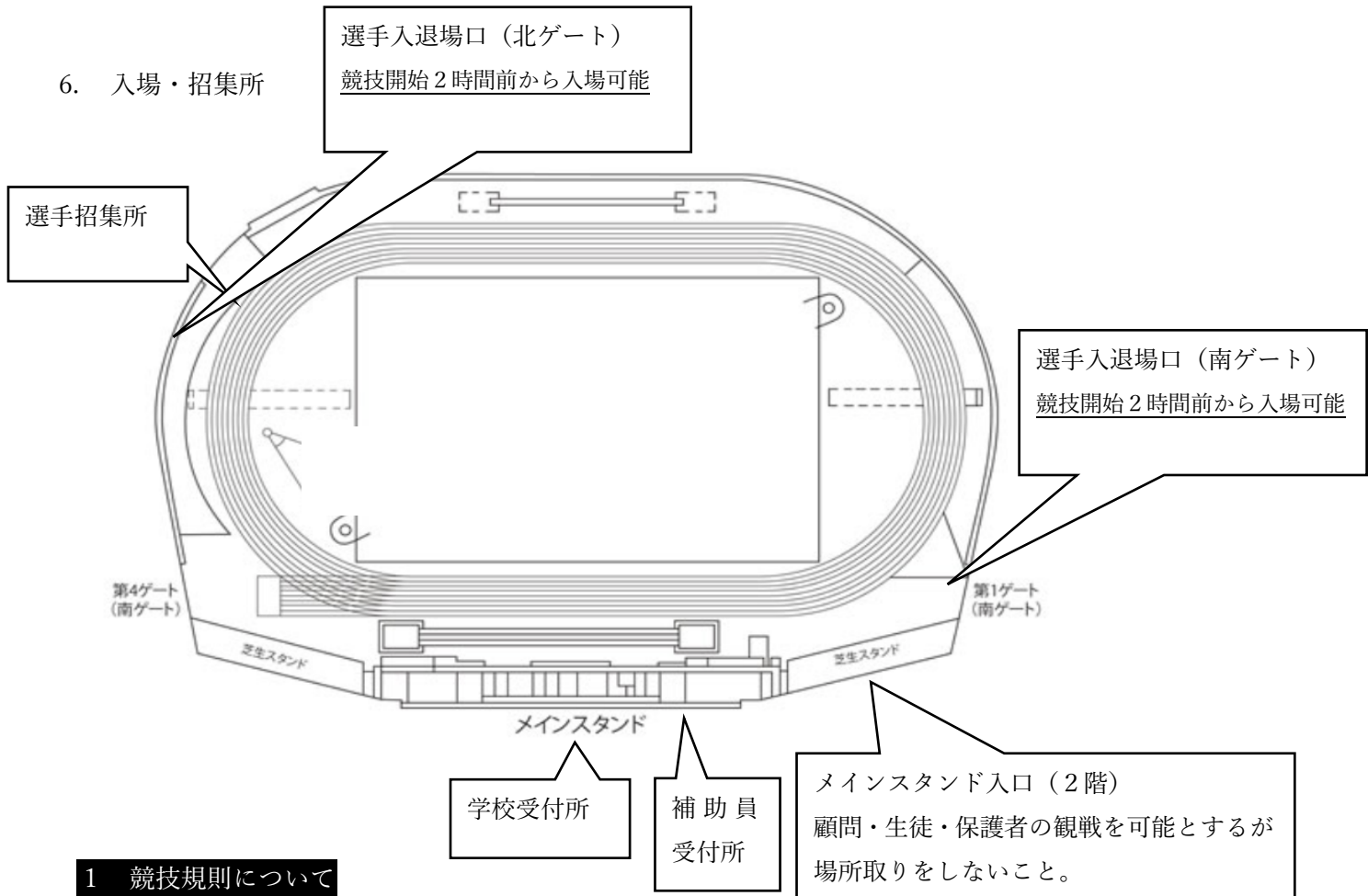
5. その他

- ① 各自で出したごみは必ず持ち帰ること。以下の学校は清掃当番校であるため、競技終了後、速やかに正面付近に集まること。（5名程度）

| | | |
|---------|----|--------|
| 5月3日（金） | 瑞陵 | 愛知総合工科 |
| 5月4日（土） | 昭和 | 山田 |

| | | |
|---------|-------|-----|
| 5月5日(日) | 中京大中京 | 至学館 |
|---------|-------|-----|

- ② 競技場周辺の公園での練習等は絶対に行わない。(バックスタンド裏、野球場周辺、山崎川沿など)
- ③ 閉会式は行わないが表彰式を該当校のみで行う。



1 競技規則について

1. 競技運営について

- ① 本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則及び大会申し合わせ事項に則って行う。

2. ウォーミングアップについて

ウォーミングアップの実施はレクリエーション広場で7時30分から最終の種目の招集終了時間まで実施してもよい。

この範囲のなかであれば下記の通りにウォーミングアップを実施してよい。

① 北競技場

- 各日7時30分から9時15分まで練習可能とする。
- 競技中は、審判の指示に従い競技進行の妨げにならない範囲で練習をしてもよい。

② レクリエーション広場

- 使用可能時刻は、最終種目招集開始時刻までとする。
- 跳躍練習、投擲練習は実施できない。
- 他人の怪我につながる可能性のある行為をしないこと。

- 当大会に出場する選手のみを使用を認める。

3. 招集について

- ① 招集所は、200mスタート付近倉庫に設ける。
- ② 招集完了時刻に遅れた競技者は、該当種目については棄権とみなし、競技に参加できない。
- ③ 各種目の招集完了時刻・完了時刻は以下の通りである。
- ④ リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の45分前にまでに招集所に提出すること。

| | 招集開始 | 招集完了 |
|-----------------|----------|----------|
| トラック競技 | 競技開始40分前 | 競技開始20分前 |
| フィールド競技（棒高跳を除く） | 競技開始40分前 | 競技開始30分前 |
| 棒高跳 | 競技開始70分前 | 競技開始50分前 |

※ハードル種目のみハードル練習のために北支部の招集時間を南支部に合わせる。

4. アスリートビブス（ナンバーカード）について

- ① 規定のものを、胸部・背部に必ず固定しておくこと。（競技規則 TR5・7）
- ② 跳躍競技については、胸と背のいずれか一方のみでもよい。
- ③ トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を招集時に配付する。右腰のやや後部につけ、競技終了後に係まで返却すること。

5. 表彰・各種目の得点について

- ① 各種目6位までを入賞者とし、賞状を授与する。賞状を表彰室（スタジオ）に取りに来ること。
- ② 各種目の得点は、1位6点、2位5点、3位4点、4位3点、5位2点、6位1点とする。
- ③ 3日目終了後に表彰式を行う。男女それぞれ総合6位まで、トラックの部・フィールドの部3位までの学校に賞状を授与するので出席すること。

6. 県大会出場者(チーム)について

- ① 県大会出場者は、各種目上位6名とする。
- ② シード選手(チーム)は、今大会の結果にかかわらず県大会に出場することができる。
- ③ シード選手(チーム)が6位以内に入賞した場合、7位以降の選手を繰り上げ、シード選手(チーム)以外の6名(チーム)が県大会に進出する。
- ④ シード選手(チーム)が多く、決勝ラウンド以前の段階で出場チームを決定する場合は、決勝ラウンド1つ前のラウンドの記録により県大会進出者(チーム)を決定する。
- ⑤ 以下の種目については、県大会進出には、6位入賞に加え標準記録に達することが必要である。

| 種目 | 標準記録 | 確認事項 |
|-----------|----------|-------------------------------------|
| 男子5000m競歩 | 28分00秒00 | 標準記録に達しなかった者は、競技終了後、3回の試技を行うことができる。 |
| 女子5000m競歩 | 33分00秒00 | |
| 男子ハンマー投げ | 35m00 | |
| 女子ハンマー投げ | 25m00 | |

- ⑥ 県大会出場者(チーム)は、学校ごとで最終日終了までに出場手続きを県大会申込所(スタジオ)で行うこと。

2 競技に関して

1. 競技器具・競技用靴について

- ① 原則として競技場備え付けのものを使用すること。
- ② 棒高跳における「ポール」については私物を使用してもよい。
- ③ スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投については12mm以下とする。いずれの場合も本数は11本以内とする。
- ④ 競技用靴については TR5.2 を適用する。規格外のシューズを使用して競技に出場した場合は、失格として取り扱う。
- ⑤ 本大会は、フィールド競技用シューズの TR5.2 を適用せず実施する。

2. トラック種目及びフィールド種目の実施方法について

トラック競技

- ① トラック競技の計時は、全て写真判定装置を使用する。
- ② 男子 5000m は 22 分、女子 3000m は 15 分で競技を打ち切る。
- ③ 男子 5000m 競歩は 30 分、女子 5000m 競歩は 35 分で競技を打ち切る。
- ④ ハードル種目については予選の競技開始前の 10 分間、決勝は 5 分間の練習の時間を設ける。
- ⑤ 100m、110mH、100mH においてグランドコンディションにより逆走を実施する場合がある。

フィールド競技

- ① 投擲競技の計測は、光波測定器を使用する。(運営上の問題で変更する場合がある。)
- ② 走高跳を除く跳躍、やり投の競技者は、助走路の外側に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1個だけ使用することができる。走高跳の競技者は各自でマーカー(粘着テープ、2箇所まで)を助走路内に用意することができる。
- ③ 三段跳の踏切版は、砂場から 男子 10 m、女子 8 mの地点に設置する。
- ④ 走高跳・棒高跳について

走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする。ただし、天候などの状況により変更することがある。

| 種目 | | 練習 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 以降 | |
|-----|----|-----------|------|-------------|------|------|------|------|------|---------|--------|
| 走高跳 | 男子 | 1m50 ～ | 1m50 | … 5cm ずつ上げる | | | | | | 1m85 | 3cm ずつ |
| | 女子 | 1m20 ～ | 1m20 | 1m25 | 1m30 | 1m35 | 1m40 | 1m45 | 1m50 | 3cm ずつ | |
| 棒高跳 | 男子 | | 2m60 | 2m80 | 3m00 | 3m20 | 3m40 | 3m60 | 3m70 | 10cm ずつ | |
| | 女子 | | 2m00 | 2m20 | 2m40 | 2m60 | 2m80 | 2m80 | 2m91 | 10cm ずつ | |

3. 競技運営について

- ① 競技者はビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話、もしくは類似品の危機を競技場内で所持または使用することはできない。(競技規則 TR6・3・2)
- ② 競技者は競技場所から勝手に離れることはできない。(競技規則第 TR6)
- ③ 抗議は、競技規則 TR8 によって定められた時間内(結果がアナウンスされた時刻を正式発表とする)に、競技者自身もしくは代理人が、担当総務員を通じて審判長に対して口頭で行い、控え室で待機する。さらに、審判長裁定に不満の場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通じてジュリーに「抗議申立書」で申し出る。
- ④ 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。

4. 番組編成について

- ① トラック競技の予選のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の順とする。
- ② 欠場等で予選が8名以下となった場合は、編成を組み直し、決勝のみとする。
- ③ レーンで行うトラック競技では、欠場者のレーンは空ける。800mについては競技役員の指示に従うこと。
- ④ トラック競技の決勝の発表は、下記のQRコードからWEB速報を確認すること。正面出入り口付近でも確認できる。
- ⑤ タイムによって次のラウンドに進む競技者の決定について、同記録がありレーン数が不足する時の処置は、写真判定主任が0.001秒の実時間を判定して進出者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。(競技規則第 TR21・5)

5. 一般的注意事項

- ① 各校引率教員は大会当日の競技開始30分前までに学校受付を完了すること。この受付がない場合、選手は競技に参加することができない。
- ② 選手の変更は認めない。
- ③ ゴミの持ち帰りに努めること。また、近隣のゴミ箱等に捨てることはしない。
- ④ 応急処置をする場合、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。競技場での疾病・障害に対する応急処置は主催者で行うが、以降の責任は一切負わない。
- ⑤ 横断幕、応援用ののぼり等は使用しないこと。
- ⑥ 歩道橋での観戦、応援はおこなわないこと。
- ⑦ 貴重品の管理は、各自で責任を持って行う。

◆競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

※保護者及び本人の了解がない撮影を禁止します。

※撮影禁止をさせていただくエリアは下記のエリアです。

◎各種目のスタート後方 ◎走高跳、走幅跳、三段跳、棒高跳の助走後方・着地前方

◎走高跳マットに向かった正面(クリアランス動作中)

・選手がスターティングブロックの足合わせを行っている間や、試技を待っている間、身体を動かしている間など、競技の準備を行っている時。

※また他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断した場合は、すみやかに警察及び関係機関に連絡します。

記録公開 Web サイト



NO!
スポハラ

反映までには時間がかかります。